

Sumitomo Dental Clinic News Letter 2017年3月号



堺市北区蔵前町3-2-8 サンロード蔵前104

☎072-250-3117 住友歯科医院 検索🔍

こんにちは！住友歯科医院 院長の住友 敏彦です。
暖かい日が続くようになってきました。
季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですので、
無理をせず、体を休めることも大切です。
みなさんのお口の管理は当クリニックにお任せください。

■ご挨拶

こんにちは。いつも住友歯科医院においでいただきありがとうございます。歯科助手の永峰（ながみね）です！院長からバトンが回ってきたので、3月号は私が張り切ってお届けします。



住友歯科医院の元気印（自称）な私は、患者様からいつもパワーを頂いております。少しでも気持ちよくお通いいただく為にも、疑問質問など、遠慮なく話しかけてくださいね。ちょっとした気付きは勿論、特に専門的なことに関してはきちんと先生や歯科衛生士にお届けします！

■私の好きなこと

さて、インドア派かアウトドア派かという点、完全にアウトドア派の私。冬は待ってましたとばかりにウインタースポーツ、特にスノーボードを楽しみます。

先日、今シーズン初の鉢伏高原に行ってきました。スキー場に向かう当日は大寒波襲来と重なり、ホワイトアウトの猛吹雪の悪路。めげそうになる運転手を叱咤激励しながら、安全走行。そしてまさかのスタック初経験。力一杯車を押しましたが、ビクともせず、通り掛かりの情け深い方々に助けをいただき、現地になんとかたどり着きました。

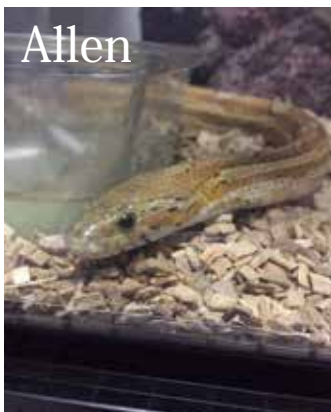


↑初めましての方とも和気あいあい。子どもたちのはじける笑顔が素敵でした！

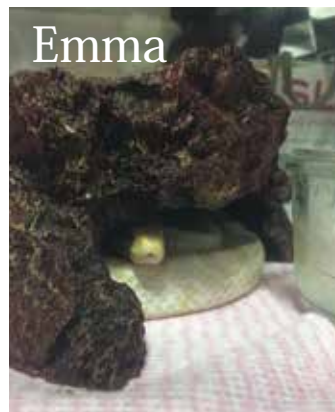
さて、お待ちかねのゲレンデでは、新雪で板が走らず、初心者のように何度もコケていました。振り返るといくつもの轍が出来ています。（笑）

大人数での参加だったのですが、初めましての方ともすぐに打ち解け、和気あいあいと盛り上がりおりました。鼻を真っ赤にしながらみんなで食べた熱々のラーメンの美味しかったこと！！食べることも大好きなので「食べたらかっちり動く」を自分に課しています。もともと体を動かすことが好きなので苦にはなりません。食べたラーメン分、思いっきり斜面を攻めておりました。

住友歯科医院 永峰 万美子



Allen



Emma

■私の大切な家族を紹介します！！

患者様の中にはご存知の方もいらっしゃいますが、実は無類の爬虫類好き。

我が家には、私が高校二年生の頃から飼い始めた家族があります。アメリカ産のコーンスネーク「アレン」と「エマ」です。もう一緒に暮らしてかれこれ12年（…歳がバレちゃいますね）！写真左のアレンは、カメラ大好き、好奇心旺盛なやんちゃ君。写真右のエマは警戒心がちょっと強い恥ずかしがり屋さん。一緒に暮らしていると、ワンちゃんネコちゃんみたいに性格も分かっちゃうんですよ。



Hot Break Times

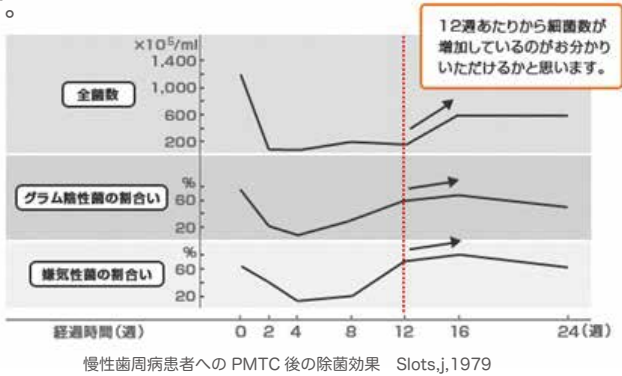
住友歯科医院
Topics

実はとっても大事な「予防」のお話

「メンテナンス」 のススメ②

■メンテナンスの間隔

住友歯科医院では通常3ヶ月に1度のメンテナンスをお願いしています。それはメンテナンス後再び細菌が繁殖するからです。その根拠は次のような研究結果によるものです。



上の図は、メンテナンスを行った時点から、その後のお口の細菌数を調べた研究です。お口の中の全細菌数はメンテナンス後、約3ヶ月(12週)で増加傾向になります。

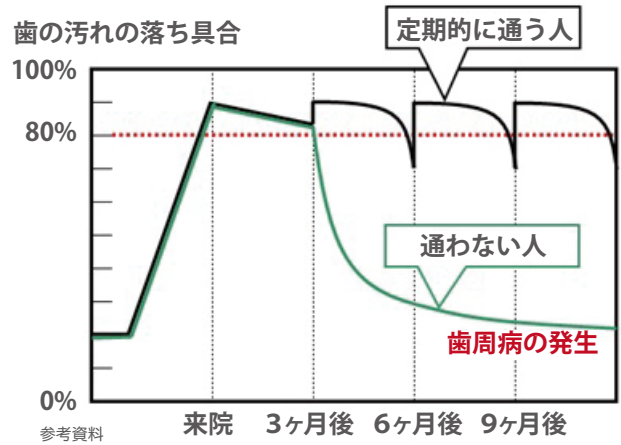
また、歯周ポケット内の細菌の75%を占める嫌気性グラム陰性菌群(歯周病菌)はメンテナンス後4週は20%以下に減少していますが、12~16週後にはもとのレベルに戻る傾向がわかっています。

逆に言うと、メンテナンスによって、細菌数を減らせる効果が12週程度続くということです。メンテナンスは細菌減少に効果があります。1979年に発表された研究です

ので、すでに30年以上前にこの様なことがわかっております。これらの科学的根拠に基づいて、当医院では3ヶ月ごとのメンテナンスをお勧めしています。

■メンテナンスを行わず放っておくと

メンテナンスを行わず放っておくと下の図の緑色の線のように再び悪化してしまいます。期間が空くと細菌感染という点から虫歯・歯周病になるリスクは高くなります。



■住友歯科医院から大切なあなたへ

全身の健康を考える上でも、お口のメンテナンスを行い、虫歯、歯周病を予防していくことがとても大切だと私どもは考えております。

当院では「病気の部分だけが良くなればそれでいい」そんな風には思っておりません。定期的なメンテナンスは小さな積み重ねかもしれませんが、長い目で見ると皆様のお口の将来を大きく変えます。**メンテナンスにご興味のある方は、どうぞスタッフまでお気軽にお声がけください。**

思い出写真館とめぐる

Dr.Toshihiko's Essay 「桃の節句と親ごころ」

3月3日は桃の節句「ひなまつり」ですね。昔から、「ひな人形を早くしまわないと、嫁に行きおくれる」といわれ、ひなまつりが終わったら早めにしまうように伝えられてきました。それはなぜか、ご存知ですか？「厄ばらいをして不幸を遠ざけるため」ひな人形には我が子の厄や災いを引き受ける役目があります。そこで、厄を移したひな人形をいつまでも身近に置いておくと幸せな結婚もできないと考え、早くしまったほうがよいとされました。

「きちんとした娘にしつけないから」美しいひな人形はいつまでもながめたいもの。また、いざ片付けるとなると面倒です。しかし、片付けも満足にできないようではきちんとした女性にはなれず、いいお嫁さんにもなれないため、早く片付けるようしつめました。

「おひなさまのように早く幸せになってほしいから」ひな人形は婚礼の様子をあらわしているのだから、早く飾り出すと「早く嫁に出す」、早くしまうほど「早く片付く(嫁に行く)」ことに通じると考え、早く幸せな結婚ができるよう願いました。

我が子の幸せを切に願う親ごころは、古今東西変わらず…素敵な由来ですね。



←3月某日。弟を抱っこする私(年長さん)。男兄弟なのでおひなさまは娘が生まれてから。娘の幸せを願って今年も飾ります。